

1 題材名 「地域の食べ物を味わおう」

自立活動の区分，項目との関連

- | | |
|-------------|--|
| 1 健康の保持 | (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。
(4) 健康状態の維持・改善に関すること。 |
| 2 心理的な安定 | (1) 情緒の安定に関すること。
(2) 状況の理解と変化への対応に関すること |
| 6 コミュニケーション | (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。
(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。 |

2 題材について

(1) 教材観

特別支援学級では、教科等の他に「自立活動」の時間を設定している。それは「障害による学習上又は、生活上の困難さを改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うもの（平成23年特別支援学校指導要領）」と位置付けられている。本校でも週1時間自立の時間を設定し、自分自身の体について理解し健康状態を維持するための指導や、他者との関わりを広げるための活動等を行っている。

そうした活動のなかでも、食に関する活動は、将来自立し、社会参加するための基盤として大切なものとなる。望ましい食習慣を身につけ、自らの健康を自己管理する力や食物の安全性等を判断する力は極めて重要なものである。また、食に関する体験は、子どもたちの情緒を安定させ、調理実習の体験等は見通しを持って行動する力やコミュニケーションの力を培う面もある。

そうしたことから、昨年度も食に関する活動を行ってきた。養護教諭とのTTで行った「歯の健康について考えよう」では、虫歯のできる仕組みについて学習した後、虫歯菌の好きなおやつ、嫌いなおやつの絵カードを自分たちで分類する活動を行った。「ポップコーンを作ろう」では、ポップコーン用のトウモロコシを種まきから収穫まで自分たちで世話をした。収穫したトウモロコシでポップコーンを作り、全校生徒に食べてもらうことができた。「よく噛んで食べよう」では、栄養士とのTTで、よく噛むことの効用について学習した。実際にスルメとゼリーを食べ比べたり、噛みごたえクイズに答えたりする活動を通して、よく噛むことの体に及ぼす影響について学んだ。「卒業を祝う会」では、卒業祝いの手紙をパソコンで作ったり、一緒にゲームをしたりする活動の他に、ケーキを作りみんなで食べて楽しんだ。

そうした活動を受けて、今年度も、食に関する活動を行ってきた。1学期の最初の活動は「赤・黄・緑のなかまについて知ろう」を行った。最初に食品が、その働きにより三つに分類できることを学習した。その後赤・黄・緑の三色に色分けしたカードを使って、神経衰弱ゲームを行った。ゲームの途中には、子どもたちから「ヨーグルトは牛乳からできているから、牛乳と同じ色だね。」や「野菜だから、みんな緑だ。」等のつぶやきを聞くことができ、

食べ物に対する興味・関心の高まりを感じることができた。

今回行う「地域の食べ物を味わおう」は、地産地消の大切さを学び、食品を選択する際の一つの判断基準を形成したいと考え設定した。本時の授業の前には、地元でとれた旬の野菜を使った活動を行った。ボックスの中に隠された野菜に触り、手触りだけで名前を当てる活動を行った。子どもたちは、トウモロコシの髭やナスのつるつるした表皮に触り、その特徴から名前を当てたり、手についたにおいから何の野菜か考えたりと、五感を使ってクイズに取り組んでいた。そして、地元でとれたものを地元で消費する「地産地消」の意味について知り、その良さについて考えることができた。また、給食の食材にも地元でとれたスモモやインゲン等が使われていることを学んだ。

本学習ではさらに、地元でとれた果物を使った調理を行い、実際に食べてみるという活動を行う。そして、おいしさを味わう中で、地産地消に対する意識を高め、食品を選ぶ際の目を養っていきかけとしたい。また、調理の手順について見通しを持って取り組み、完成させる体験を通して、気持ちの安定や達成感を味わわせたい。作業の中で不明なところが出てきた時には、きちんと質問したり、最後には感想が話したりできるコミュニケーションの力もつけていきたいと考える。

(2) 児童観

さくら学級（知的）1年生女子1名、5年生男子2名、ひまわり学級（情緒）3年生男子1名、6年生男子1名の計5名である。どの子も明るく元気に生活している。学習に対する意欲も旺盛で、今までの2クラス合同での自立活動には、お互いに仲良く譲り合ったり協力したりしながら、楽しく取り組んできた。また、少人数の良さを活かし、自分の考えや思いを進んで述べることができた。

食に対する興味・関心はどの子も高い。給食は交流学級で食べている。給食当番も一緒に行い、全部食べきることを目標に頑張っているが、一部には、偏食傾向が強かったり、気持ちの影響で食欲がなくなり食べられなくなったりしてしまう子もいる。また、運動量と摂取する栄養量のバランスが気になり始めた子もいる。

(3) 指導観

児童は1学期に「地産地消」を学び、前時には2学期にも給食にはたくさんの地場産物を使用することを知った。本時は9月の給食に使用予定で、山梨市牧丘町の特産品でもある「巨峰」でコンポートを作るという調理実習を行う。

実習中は手順をよく確認し、安全に気をつけながら調理をさせたい。心を込めて会食の準備をし、後片付けまで、見通しを持って取り組めるよう作業をわかりやすく示す。仲間と協力し合いながら分からない事は聞いたり、感じたことを話したりと、コミュニケーションの力もつけさせたい。

新鮮な食材に触れ、調理することで違った形に変化し、おいしいコンポートが出来上がることを経験させたい。また自分たちの手で作ったものを人にふるまい、おいしく食べてもらうことで達成感も味わうことができる。豊かな人格の形成や、情緒の安定につながるような食経験のひとつとしたい。

3 指導計画（食に関する自立活動）

活 動 名	学 習 内 容	自立活動の区分・項目との関連 ○食に関する指導の目標
赤・黄・緑のなかま について知ろう (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 食品の三つの分類について知る。 絵カードを使って分類をそろえる神経衰弱ゲームを楽しむ。 	1 健康の保持 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること 3 人間関係の形成 (4) 集団への参加の基礎に関すること ○心身の健康
地産地消について 知ろう (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消の意味と、良さについて知る。 ボックスの中の地元の旬の野菜や果物を当てるゲームを楽しむ。 	1 健康の保持 (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 ○食品を選択する能力 ○食文化
地域の食べ物を 味わおう (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 給食で使われる地場産物について知る。 地域の特産物の巨峰を使ってコンポートを作り、みんなで食べる。(本時) 	1 健康の保持 (1) (4) 健康状態の維持・改善に関すること ○社会性 ○食文化
ポップコーンパー ティーをしよう (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ポップコーン用トウモロコシを収穫して、乾燥させ調理の準備をする。 ポップコーンを作って、みんなで食べる。 	3 人間関係の形成 (1) 他者とのかわりの基礎に関すること ○食事の重要性 ○感謝の心
箸の使い方を 知ろう (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 箸の良さや便利さを知る。 箸の使い方に慣れる。 	5 身体の動き (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること ○社会性 ○食文化
卒業を祝う会を しよう (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> 6年生の卒業をお祝いする気持ちを手紙等のいろいろなやり方で伝える。 自分たちで調理したお菓子を食べて一緒に楽しむ。 	2 心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること ○食事の重要性 ○社会性

4 本時の学習

(1) 日時 2014年8月29日(金) 14:00~15:00

(2) 場所 山梨市立牧丘第一小学校 家庭科室

(3) 本時のねらい

- ・地元でとれた食材を食べる良さに気付くことができる。(健康の保持)
- ・見通しを持って調理に取り組み、完成させることができる。(心理的な安定)
- ・身近な人と意思のやり取りをすることができる。(コミュニケーション)

(4) 食育の視点

- ・協力して準備や調理、後片付けができる。(社会性)
- ・地域の特産物に触れ、風土や食文化の理解を深める。(食文化)

(5) 展開

過程	児童の学習活動と内容	指導者の指導・支援	評価規準
<p>導入 5分</p>	<p>1. 前時の学習をふり返る。</p> <p>2. 今日の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">地域の食べ物を味わおう</div>	<p>T1: 献立表を示し、来週の給食には地場産物がたくさん使用されていることや地産地消にはどんないいことがあるかなどを思い出させる。</p> <p>T1: 今日の学習課題を知らせる。</p> <p>T2: 新鮮な「巨峰」を示し、牧丘町の特産品であることを確認する。</p>	
<p>展開 45分</p>	<p>3. 調理の手順を知る。</p> <p>4. 下ごしらえをする。</p> <p>5. 調味料等の準備をする。</p> <p>6. 調理をする。</p>	<p>T2: 写真や説明文を示し、巨峰のコンポートの調理手順を説明する。</p> <p>T1: 分からなくなったら黒板の指示をよく見たり、周りの人に確認したりするということを伝える。</p> <p>T1・2: 巨峰を房から外して洗ったら、沸騰したお湯で1分ほどゆでる。皮がむけてきたらザルに取り、水で冷ます。一粒ずつ皮をむいたら、実を鍋に入れる。全員が作業に関われるようにする。</p> <p>T2: グラニュー糖の計量と、ペクチン液用意を担当の子どもにさせる。</p> <p>T1・2: グラニュー糖を入れ、火加減に注意しながら焦がさないように煮る。ペクチン液を入れ、さらに煮る。火傷に注意しながら調理させる。氷水で冷やし、とろみがついたら盛り付けをさせる。</p>	<p>見通しを持って調理に取り組み、完成させることができる。</p> <p>●心理的な安定 ○社会性</p> <p>身近な人と意思のやり取りをすることができる。</p> <p>●コミュニケーション</p>

	7. 会食の準備をする。	T1: 前時の確認のとおり、テーブルのセッティングや食器などの準備をさせる。	
	8. 会食をする。	T1・2: 楽しい雰囲気の中で巨峰のコンポートを味わう。生の巨峰も食べて、味を比べさせる。	
まとめ 10分	9. 感想発表をする。	T1: 今日の学習を振り返り、感想を発表させる。	地元でとれた食材を食べる良さに気付くことができる。 ●健康の保持 ○食文化
	10. 後片付けをする。	T1・2: 後片付けをさせる	

【評価規準】 ●は自立活動の区分・項目との関連
○は食に関する指導の目標との関連

(6) 板書計画



5 授業の様子



6 授業後の研究会から

【授業者から】

- ・手順をどうしたら短時間でおいしく、満足感を持たせられるか、試行錯誤した。
- ・自立活動の中で調理や食べることの活動は、仲間と仲良く、生き生きと取り組める活動だ。
- ・個々の児童の実態は様々であるが、本時はうまく参加できていた。
- ・地産地消は繰り返し指導したので、その利点や良さについてはよく覚えていた。
- ・片付けをする時間が取れなかった。

【研究会から】

授業の流れについては、2時間位で扱うような内容であったのではないかと、片付けまでは1時間では無理があった、調理過程の食材の変化をもっと時間をかけて観察させたかった、など出されたが、児童が中心となって調理や会食の準備が1時間でできたことについては、よく考えられた流れであったと評価できる。

牧丘の特産品である「巨峰」は児童にとって身近であり、誇りであり、題材としてとてもふさわしかった。試食の時にはとても満足げな表情をしていた。家でもこれからたくさんぶどうが収穫されるので、コンポートを作りたいという感想からも、食文化に対する理解を感じることができた。

調理過程を説明する掲示物が大変わかりやすく、児童が分担をよく理解できスムーズに動くことができた。自分たちで作業を確認しながら進んで調理に参加する姿から、集団の中で一緒に活動できる力がついてきたことを感じた。また1年生の児童にやさしく声をかける場面や、仲間どうし譲り合う姿が多く見られ、本時のねらいが達成できた。児童は自己肯定感を持つことができたのではないかと。

TTについては、1学期からの取り組みの中で日常的に連携を取り合い、非常にスムーズに役割分担出来ていた。指導者と児童の間に信頼関係が感じられた。普段は本時の2名に加え、もう一人の学級担任と支援員の合計4名でこのような活動を行っている。

【考察】

特別支援学級の子どもたちにとって、自立活動の時間は重要な、また楽しい時間である。その中でも特に調理を伴う活動は、食べるというゴールがはっきりしていて達成感が味わえること、友だちと協力して取り組める活動であること、先の見通しを持って作業に取り組めること等から、特に有意義な活動である。これからも担任と栄養士が連携をとりながら、活動を行っていきたい。また、調理実習だけでなく、生きることの根幹にかかわる「食べる」ことの知識や実践力をつけていくために、食に関する活動を継続させたい。

また、食に関することは、保護者の協力や家庭での実践が必要である。学校での取り組みを家庭に伝えるため、活動のねらいや内容を連絡帳で知らせたり、活動の後、食育だよりや学級だよりで様子を伝えたりした。保護者からは、活動に対して「家庭でも作ってみたい。」という感想や、食に関する家庭での様子等が寄せられたのは、良かったと思う。

子どもたちも、「牧丘の特産品の巨峰はおいしい」「家でとれたぶどうで、作ってみたい」等の感想を書いていた。地元の食材に目を向けさせる良いきっかけになったと思う。